



# 中丹教育支援センターだより

京都府立中丹支援学校 令和6年3月13日発行



年度末にあたって

中丹教育支援センター長 向山 実矢子

暖冬といわれた冬も終わりに近付き、日差しの明るさに春を感じる季節となってまいりました。

各関係機関の皆様には、今年度も中丹教育支援センターの活動に御支援、御協力をいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

さて、年度初めの挨拶において、「通常の学級に在籍する小中学生の 8.8%が特別な教育的支援を必要とする」と発表されたことを紹介しました。現場の先生方はこの1年間、様々な教育的ニーズのある幼児児童生徒一人一人に向き合い、個に応じた指導、支援、ICT の活用など、試行錯誤しながら実践してこられたのではないのでしょうか。

今年度、中丹教育支援センターでは、巡回相談や、研修支援、地域開放講座などを実施してまいりました。これらの活動が少しでも、お役に立てたのであれば幸いです。

今後も、継続的で切れ目のない効果的な支援が提供できるよう綾部市、福知山市の相談支援チームをはじめとした関係機関の皆様との連携・協働しながら地域支援事業に貢献してまいりたいと考えているところです。

今後とも中丹教育支援センターの活動に御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



## 中丹教育支援センター 相談支援の実施状況

	就学前	小学校	中学校	高校
相談件数	57	27	27	15

(2月末時点)

相談支援では、巡回相談を主として、来校相談も行い、多くの園児、児童、生徒たちの支援について先生方と一緒に考えさせていただきました。相談内容としては、通常の学級に在籍する児童生徒の学習支援についての相談が多く、検査によるアセスメントも行いながら支援について検討しました。特別支援学級に在籍する児童生徒への学習面や生活面の支援の相談では、特別支援学校で行っている生活単元学習や自立活動なども紹介しながら、相談活動を行いました。肢体不自由のある子どもたちの相談も複数件あり、本校の自立活動部専任教員とともに巡回相談を行い、身体面の支援方法や取組内容について話をしました。中丹教育支援センターの外部相談員である臨床心理士と連携し、心理面の支援について学校で取り組めることを考えたケースもありました。また、近年、就学前の幼稚園や保育園からの相談も増えてきています。

綾部市、福知山市の教育支援委員会や就学前スクリーニングなどにも関わらせていただき、地域の子どもの様子を知ることができました。

相談内容が多岐にわたり、支援のニーズやそれぞれの現場の状況などの把握に時間を要することもあります。子どもたちの実態の変化もあるため、一度の巡回/来校相談では十分な相談活動が行えないと感じています。当センターとしては、継続的な支援の中で、先生方と一緒に支援力を高め、子どもたちのよりよい生活のサポートをしたいと考えています。

## 京都府総合教育センターICT プロジェクトの御報告



昨年度より、京都府総合教育センターのプロジェクト研究「通常の学級に在籍する読み書きに困難のある児童生徒の ICT を活用した学びの研究」に参加させていただきました。当センターとしては、2 年間の参加でしたが、平成 28 年から 8 年間続いたこのプロジェクトも今年度の取組をもって終了となりました。

研究協力校の先生方が各校での実践を進めてこられる中で、読み書きについての合理的配慮が必要な児童生徒に対して、ICT 機器活用による音読や書字の支援、テストのデジタル化の導入などに取り組み、児童生徒が意欲を高めて学習に向かうようになったことが報告されました。また、プロジェクト会議では、「各教科での学びの本質は何か」を考え、児童生徒が読み書きの障壁を解消し、学びの本質に迫ることができるように支援することの重要性について話し合われました。個に応じた支援の前提として、児童生徒本人が自分の得意や不得意を知り、自分に必要な支援を受け入れて活用することの大切さについても触れられ、自己決定する力や自己権利擁護する力を育むことが必要であることも確認されました。

8 年間にわたって本プロジェクトに関わってこられた、東京大学先端科学技術研究センター近藤武夫教授からは、児童生徒が本質的な学びにたどり着けるように、児童生徒と指導者が同じ課題を共に見つめながら対話を深め、児童生徒本人の自発的学びをサポートするという支援の在り方を深められたことこそが、このプロジェクト研究の成果なのではないかという報告がありました。

令和 6 年 4 月からは、民間事業者においても合理的配慮の提供が義務化されます。公平な学びの場の実現のために ICT 機器が有効に活用されるよう、本プロジェクトで学んだことを生かしていきたいと考えています。

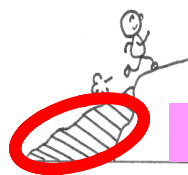


## ～ 本校ホームページを御活用ください ～



中丹支援学校では、ホームページにて自立活動の位置付けや目的、指導内容等についてお伝えしています。本校では、“言語”“からだ”“療育”の3分野に専任を配置し、担任と協働しながら指導を進めています。ホームページでは、各分野のねらいや指導、環境設備などをそれぞれ掲載しています。また「自立活動部だより」では、各号で6区分ごとに整理し、日々の学級・グループの授業の様子や、自立活動専任による取り出し指導の内容をトピック記事で掲載しております。また、支援機器や設備環境、教材教具についても紹介しておりますのでぜひ御活用ください。

自立活動のイメージ図



支援

感覚面に働きかける道具や  
身体の使い方等の練習に  
ついてお伝えしています。



本校ホームページにいろいろな学習内容を掲載していますので、ぜひ御覧ください。

QR コードを読み取りください。



今年度も中丹教育支援センターの活動に御理解、御協力をいただきありがとうございました。来年度も地域の先生方とのつながりを大切にしながら、子どもたちの支援を行っていきたく考えています。どうぞよろしくお願いたします。

地域支援コーディネーター 島田 尚美 塩見あかね